

弥彦村社教だより

平成 28 年 10 月 20 日 NO.

3

弥彦村社会教育委員の会

《第 1 回若彦会案内》

上記会を以下の要領で実施します。弥彦について若者の声を聞く会に、ぜひ、誘い合っ
てご参加ください。

【日時】 平成 28 年 11 月 19 日（土）15：00～16：30

【会場】 弥彦中学校 1 階食堂

【主催】 弥彦村教育委員会 【共催】 弥彦村社会教育委員の会

【参加費】 無料 【参加対象】 弥彦在住または弥彦にお勤めの 40 歳以下の方

【申込方法】 電話で報告をお願いします。（TEL 94-4311 村教育委員会 担当 橘）

【問い合わせ】 TEL 94-4311 村教育委員会 橘 TEL 94-2101 弥彦中学校 堀

【その他】 終了後、大山鮮魚店で懇親会（17 時～19 時、会費 4,000 円）を開催しま
す。 申込時に、参加の意思をお聞かせください。マイクロバスでの送迎があります。

《第 2 回地域づくり交流会報告》

10 月 1 日（土）に弥彦中学校を会場に実施した上記交流会は、30 名の皆さんの参加があ
りました。5 つのグループに分かれて、「これからの弥彦にあってほしいこと」「実現す
るための方策」について、意見を出し合い協議しました。様々な意見が出される中で、斬
新なアイデアに感心したり、もっともだとうなずいたり、各グループとも熱心な協議が
行われました。最後に、各グループがまとめを発表し、協議の内容を共有しました。参加
者からは、「この交流会の内容を広報に載せてほしい。」「もっと多くの人に参加しても
らい、弥彦のことについて話し合いたい。」といった声をいただきました。

閉会後は、会場を移して新たに 4 名の方を加えて懇親会が行われました。「弥彦のため
に～するぞ」と各自が意見を述べて乾杯して盛り上がりました。地域づくりのネットワー
ク構築に、成果のあった懇親会となりました。以下、グループ協議のまとめと、アンケー
トまとめについてお示しします。（文責：堀）

1 グループ協議のまとめ・・弥彦にあってほしいこと・実現のために

1 班

<人> ・・人との繋がりを大切にするために → ・自由に集まれる交流広場（集会所）
・家庭の日を設けて充実 ・ボランティア募集と応募の掲示板
<教育> ・・教育委員会に働き掛ける → ・利用しやすい平地の図書館 ・希望に添っ
た学びの講座開設 ・小・中・高校生に地域の文化を教えるボランティア塾開設
<観光> ・・商工会と観光課にお願いする → ・自由乗降できるレンタル自転車
・大鳥居の観光活用（イベント・駐車場整備） ・NSG 施設誘致（合宿所や学生関係
施設） ・冬イベントの開催（音楽フェス等） ・地場産商品販売のための道の駅

<施設> ・ ・可能なものからつくる → ・遊具付き公園、動物園、多目的運動公園、太陽光発電、人工芝運動場、フリークライミング施設、スケートボード場、療養型の保育園（燕市と連携して）

2 班

<地域おこし> → ・地域おこしのためのまとまり ・温泉街に活気、賑わい、飲食店

<交流の場> → ・若人が集まれる交流の場 ・集いのためのイベント

<ボランティア> → ・ 地域のためにボランティアを活用（ゴミ出し・買い物・送迎）
・子育てに参加・協力できる場づくり

<新しいものへの関心> → ・新しいものを受け入れる土壌づくり

<施設> → ・大規模公園、アスレチック場、役場近く図書館、若者が興味を持つ施設

<実現のために> → （いつ）できるだけ早く（どこで）温泉街・駅前通・矢作地区
（誰が）地域住民・有志・リーダー（何をして）大きな声を上げる・仲間をつくる
（どうする）村民の意識を変える・危機感をもたせる

3 班

<ボランティア> ・ ・社教、NPO組織を活用、区長からも協力を得る → ・ボランティアバンク ・ボランティア特典ポイント ・見守り（登下校・里山の状況）に活用

<地域交流> ・ ・空き家を活用する → ・助け合いのできる関係づくり ・世代間交流ができる場所づくり ・料理や趣味の達人の活用

<子育て> → ・子どもが遊べる総合施設 ・食育菜園、里山再生の自然の森学校
・障害児に対応する療養型の保育園 ・親子でつくるみんなの広場

<生涯学習> → ・各種サークルの育成（文化・スポーツ・高齢者参加）

<観光・イベント> → ・観光ボランティアガイド（高齢者と小学生） ・軽トラマルシェ等
・自然を生かしたレジャー施設（キャンプ場・釣り堀等）

4 班

<地域・世代間交流> ・ ・弥彦をもっと知ってもらおう → ・コミュニティ施設（誰でも自由に集い、利用できる場） ・子ども館（子どもが自由に集まり、ゲーム・軽スポーツ・読書等ができる場） ・地域の指導者活用（高齢者パソコン教室等）

<施設> → ・近隣市民が呼び込めるスポーツ施設、通年で観光客が呼べる施設、雨天でも活動できる施設、住宅地にある図書館

<既存の施設> → ・空き家利用の集える場 ・ヤホールの有効活用、施設開放の促進

<まつり> → ・新住民との交流の場 ・燈籠まつりでの観覧席 ・小中学生に伝統を引き継ぐための手立て（指導ボランティア、DVD製作等）

5 班

<人> → ・世代を超えた交流の場 ・人材バンク、人材登録ブログ（達人・指導者）
・ 趣味・特技をもつ高齢者の発見・紹介 ・イベントをプロモートする人づくり

<施設> → ・空き家活用の民泊 ・人工知能の活用（無人運転車の導入、AI住宅等）

<その他> → ・映画・TV等のロケ地誘致 ・弥彦神社社有地での野菜づくり
・競輪場のイベント活用 ・弥彦水の販売、プロレスの誘致、無料検診・マッサージ

2 アンケートまとめ

(1) 交流会に参加しての感想

- ・色々な意見が聞けて良かった（14名）
- ・色々な世代や職種の人と交流ができ有意義な時間が過ごせた（4名）
- ・もっと多くの人に参加してほしい（2名）・意外に多くの方が参加（2名）
- ・とても良い催しだった（3名）・また開催してほしい
- ・行政からの参加は、地域の方の考えを直接聞ける良い機会だ（2名）
- ・弥彦以外地域の方の話が聞きたい・新しい視点に気づかされた
- ・弥彦のことを真剣に考え、愛している人だと感動した
- ・共通のテーマが確認できた・見方を変えるとき、できることが広がる
- ・若い人の意見に感心した・話し合いで終わらずに行動する必要がある
- ・交流会について広報等で知らせてほしい・事前に協議題の連絡がほしい
- ・組織を作りながら少しずつ実践してほしい
- ・地域づくりの関心が強く、考え方・見方が新解で刺激を受けた

(2) 地域づくりに関する意見

- ・知恵と工夫でできることから実現（6名）・交流の場所がもっと必要。（5名）
- ・行政・学校・企業・住民の連携（4名）・仲間づくりが重要（4名）
- ・リーダーを育てる。（2名）・地域づくりに興味をもってもらおう（2名）
- ・地域づくりの主体がどこなのかという統一的な意識付けが必要
- ・地域づくりは、地域住民が自分たちの手で、自分たちのために行動すること
- ・住民アンケート実施・世代間交流が今後重要・楽しくなければ続かない
- ・地域づくり交流会を生かして発展・若い人の意見を聞くようにする
- ・役場から色々な意見を吸い上げてもらいたい

(3) その他意見

- ・周囲に広げるので、この会を定期的に行ってほしい（2名）
- ・色々な世代が意見を言える場があると良い（2名）
- ・一つの目標をもって色々な人が集うのは素晴らしい
- ・次回まで、色々な考えをまとめておきたい（2名）

《弥彦村地域づくり交流会に参加して・・本間美幸さん（弥彦）》

私は、村教育委員会主催の弥彦村地域づくり交流会に初めて参加させていただきました。交流会は『弥彦にあったらいいなと思うもの』をテーマに、数名ごとに分かれグループディスカッション後、その実現のためにいつ、誰が、どのようにやるのかをまとめました。発表では、学びの場（図書館、講座開講など）、交流の場（いつでも自由に利用できる施設）、助け合いの場（ボランティアの人材バンク）を求めた意見などが出されました。観光に関する意見では、弥彦村の特性を生かした観光の発展の可能性を感じるものもありました。財源がなければ実現が難しい要望もありましたが、この会だけで埋もれさせては勿体ない意見が多々ありました。

この会に参加させていただき、役場や商工会の方、世代の違う方と意見交換でき、貴重な機会となりました。今まで地域づくりについて深く考えたことはありませんでしたが、自分にとって心地いい場所、誰もが心豊かに暮らせる場所をつくるということは、人まかせではなく、自ら気付くこと、発することから始まると感じました。そして、一人一人の思いが実現するよう活動が広がっていくことを期待しています。

《地域からの情報》

特定非営利活動法人ねこちぐらは、高齢者や障がい者、子どもや親・家族を支援するため、弥彦村矢作に『コミュニティーカフェ．旬菜茶房ねこちぐら』を開所して地域の居場所としているほか、専門家を招くなどして講演会や交流会など、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

地域の皆様は、すでにねこちぐらの活動について、弥彦村広報や子育て支援センターなどのチラシ等で、イベント開催を目にしたことがあると思います。

新潟県少子化対策事業に参加し、平成 27～29 年の 3 年間の助成を受け、様々な活動を展開しています。今年度は、ハッピーベビーダンス、キッズベビーダンス、ベビーヨガとママのストレッチ、みんなで楽しく子育て離乳食から幼児食まで&茶話会、遊びの広場&茶話会等を実施しています。また、ドッグランの柵づくり、子ども広場の植栽・通路の木製ブロック打込み、無農薬の食育菜園づくりなどを行う「弥彦村 農・食・観・学・遊ぶ みんなの広場づくり」に参加・協力してくださる方を募集しています。（文責：平井）

《社会教育委員からの提言・・・弥彦村地域づくり交流会に参加しよう》

日頃、地域活動やボランティア、生涯学習に参加している方、また、関心のある方は、ぜひ、弥彦村地域づくり交流会などの催しに参加してほしいと思います。世代や立場の異なる幅広い人たちと知り合い、様々な意見を交わし、また、共通の思いをもっていたことを改めて知ることができます。第 2 回の交流会に参加した方から、発見や感動、新たな課題を共有できたなど、有意義な会であったと評価していただき、社会教育委員として、ほっとしているところです。

交流会を回を重ねる内に、様々なことが議論され、参加者の熱意でいつか形となって、持続的な地域づくりに役立ってくれればと思っています。日々の生活や仕事に追われ、余裕がなくなりがちになったり、閉塞感を感じるようになることもあるかと思っています。そのような時は、ぜひ、交流会に参加していただきたいと思います。

社会教育という大きな題目ではありますが、身近でできることから少しずつやりたいと考えています。地域活動に熱心に取り組んでいる、地域のことを考えている皆様が、参加できる行事をこれからも計画してまいりますので、どうぞ奮ってご参加ください。（文責：本多）

「社教だより」に関するご意見、ご要望がございましたら、下記担当までご連絡ください。お待ちしております。

委員長	堀 隆行（弥彦中学校長）	副委員長	平井 茂人（村山）
委員	本多 隆峰（麓一区）	委員	柏原 路子（麓二区）
委員	村越 隆典（平野）	事務局	橘 芳延（教育課）

※ ご意見のある方は、近くの委員、もしくは中学校、教育委員会事務局にお電話ください。（中学校 94-2101 事務局 94-4311）

